

加速するわが国の農林水産物・食品輸出 ～期待される広島県産「かき」の輸出拡大～

加速するわが国の農林水産物・食品輸出

2022年のわが国の農林水産物・食品輸出額は1兆4,148億円(前年比+14.3%)と、コロナ禍からの経済の再開や堅調なEC販売、為替の円安等から、過去最高に達しました。(図表1)。

因みに、政府は20年3月、30年の食品輸出額を5兆円とする目標(中間の25年:2兆円)を打ち出しています。

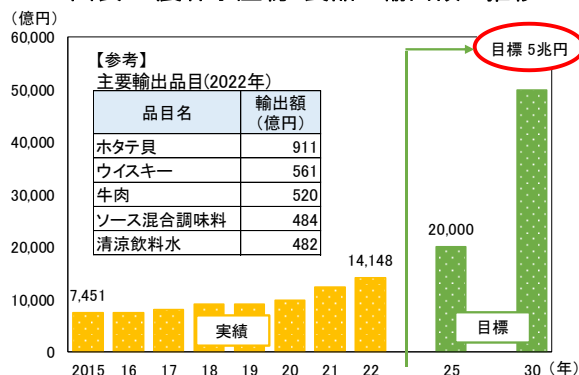
また、同年4月には「農林水産物及び食品の輸出の促進に関する法律(輸出促進法)」が施行され、輸出先国の食品安全等の規制へ対応するため、輸出先国に求められる、①輸出証明書(※1)の発行(衛生証明、放射性物質証明等)、②生産区域(※2)の指定とモニタリング、③加工施設の認定〔HACCP等(※3)の基準に対応した施設〕の法定化といった、国内環境の整備等が実施されています。

(※1)輸出証明書: 輸出先国の食品安全基準への適合の証明

(※2)生産区域: 指定されていない生産区域(海域)の水産物は輸出できない

(※3)HACCP: 食品の安全を確保するための衛生管理手法

図表1 農林水産物・食品の輸出額の推移



(資料)農林水産省「2022年1-12月 農林水産物・食品の輸出額」より作成

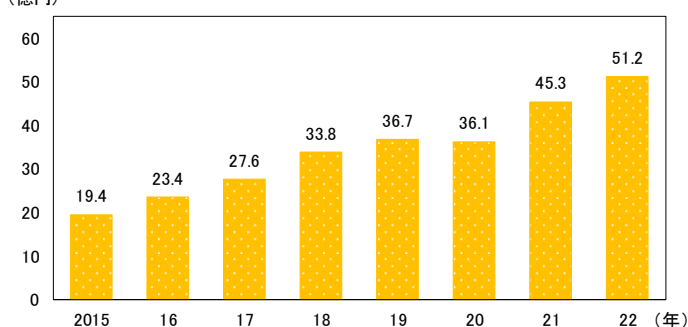
期待される県産「かき」の輸出拡大

2022年の広島県の食品輸出額は51.2億円と、全国同様に増加基調が続いており(図表2)、主な品目には、鶏卵や牡蠣(中国向け等)、日本酒(フランス・中国・米国向け等)などがあります。

このうち、牡蠣について、広島県は25年度の輸出額の目標を12.6億円に設定していますが、21年度の輸出額は10.1億円と、既に段階的目標である23年度(9.8億円)を超えています(図表3)。

22年には県内の大手牡蠣卸事業者が国内で初めて、世界で最も基準が厳しいとされる「EU-HACCP」を取得し、EUの「生産海域」に国内で初めて認定された東広島市(安芸津町)の三津湾産の牡蠣輸出を開始しています。県の代表的な特産品「かき」の更なる海外市場の拡大が期待されます。

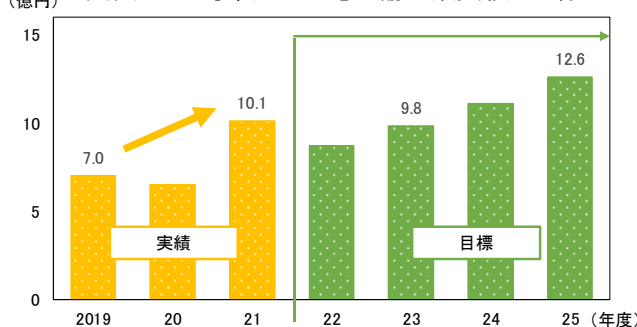
図表2 広島県の食品輸出額(通関ベース)の推移



(注)食品輸出額には農水産物輸出額を含む(林産物を除く)

(資料)神戸税関「貿易統計」より作成

図表3 広島県産「かき」の輸出額実績と目標



(資料)広島県「県産かきの海外販路拡大の展開について」、広島県ヒアリングにより当部作成

- ◆ 本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ◆ 本資料は、信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、その正確性を保証するものではありません。また、本資料に記載された内容等は作成時点のものであり、今後予告なく修正、変更されることがあります。資料のご利用に関しては、お客さまご自身の責任において判断なされますよう、お願い申し上げます。
- ◆ 本資料に関連して生じた一切の損害については、責任を負いません。その他、専門的知識に係る問題については、必ず弁護士、税理士、公認会計士等の専門家にご相談のうえ、ご確認ください。
- ◆ 本資料の一部または全部を、当社の事前の了承なく複製または転送等を行うことを禁じます。
- ◆ 本件に関するご照会は、ひろぎんHD経済産業調査部 担当: 畑、助永 (TEL082-247-4958) までお願いします。